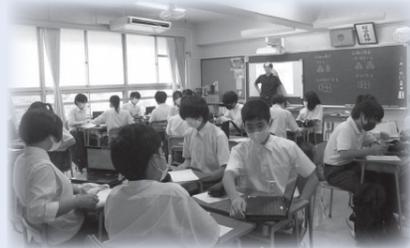


【異学年交流に基づく豊かな心の育成について】

大泉桜学園では、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成を目指し、教育目標を「桜学精神」と定め、9年間を見通した教育活動の充実を図っています。

特に、体験活動や異年齢集団による活動を重視しています。入学式、卒業式、運動会、桜祭（音楽会）、校外学習など、多くの教育活動において異なる学年の児童・生徒が共に活動する機会を設け、主体的に取り組むことによって、児童・生徒のキャリア発達を促しています。

こうした環境は和やかな校風を生み、児童・生徒の人間関係が豊かになり、自他を大切にできる豊かな心の育成につながっています。



【校内研究について】

<研究主題> 小中教員の協働的な探究を生かした、児童・生徒の「自尊感情」「学級適応感」を高める支援の工夫
～教員の課題意識に応じた探究グループによるアクション・リサーチを通して～

本学園では毎年、小学部と中学部の教員が協働して授業をつくることを柱に据えて研究に取り組んでいます。

今年度は、児童・生徒の「自尊感情」「学級適応感」を高めるために、アクション・リサーチ※の手法を取り入れ、教員が目の中の児童・生徒の課題や自分自身の課題と向き合い、研究と実践を往還できるようにしました。

教員は、「アクションプラン」（現状分析・ゴール設定）、「アクション」（実践）、「アセスメント」（検証・分析）、「リフレクション」（省察・改善）のサイクルを通して、教員一人一人のリフレクション能力を向上させながら、児童・生徒の「自尊感情」「学級適応感」を高めました。

※クルト・レヴィンが提唱したもので、教師が授業を進めながら、児童・生徒や同僚の力を借りて、自分の授業への省察とそれに基づく実践を繰り返すことによって、次第に授業を改善していく研究のこと

小中一貫教育



中学校教員による小学生への授業



小中学校教員の交流



小中合同あいさつ運動



生徒会・児童会交流

小中一貫教育に関する Q&A

Q1 小中一貫教育を実践している小学校に入学すると、小中一貫教育グループの中学校に進学しなければならないのですか。

A1 通学区の指定や学校選択制の利用により、小中一貫教育グループ以外の中学校にも進学することができます。

Q2 どの小中一貫教育グループでも同じような小中一貫教育を行うのでしょうか。

A2 それぞれの小中一貫教育グループが、中学校区の特色や実態、課題を踏まえた学習指導の改善や生活指導の充実を図っており、全てのグループが同じ取組を行っているわけではありません。

Q3 1つの小学校からいろいろな中学校へ進学する状況で、どのように小中一貫教育に取り組むのですか。

A3 中学校1校と近隣の小学校1～3校で取組を進めています。各グループが実態に応じて「目指す15歳の姿」を設定し、その実現に向けた教育活動を行っています。また、知的障害特別支援学級では、設置校を4グループに分けて研究や実践をしています。

Q4 中学校へ進学する際に、同じ小中一貫教育グループの小学校から進学する児童と違うグループの小学校から進学する児童がいると、学習状況に差が生じてしまうのではないですか。

A4 各小学校の状況に応じた取組が行われますが、学習指導要領に準拠して小中一貫教育を進めますので、学習内容や進度に差は生じません。

授業改善による
学力・体力の向上

豊かな人間性・
社会性の育成
目指す15歳の姿

滑らかな接続による
安定した学校生活

練馬区の小中一貫教育校、全小・中学校では、小中一貫教育グループごとに「目指す15歳の姿」を設定し、小中一貫教育の充実に努めています。今年度は、9年間の教育活動を系統的に整理した「小中一貫教育の取組プログラム」の実践を通して、意図的・計画的な指導の充実を図っています。

小中一貫教育グループの取組事例

自主学習を通して、自己の学びを深める取組

石神井西中学校グループ (石神井西中・石神井西小・立野小・関町小)

【目指す15歳の姿】

- 仕事と勉強に打ち込み、実行力のある人
- 健康で自習性に富み、規律ある生活を送る人
- 自由と責任を重んじ、見通しをもって行動する人
- 自他を大切にし、建設的に意見を述べる人



家庭等において、自分で課題を決めて取り組む学習 (MY学) に小学校1年生から取り組ませています。また、タブレット端末を活用して、学校間で「MY学」の内容を共有しており、学校間の連携を図っています。小学校段階から自主学習に取り組む姿勢を育むことで、中学校段階では、自分の興味のある分野や各教科に対する探究的な自主学習を展開することができるようになっています。

小学校段階では、朝学習の時間に自主学習のテーマを決める時間や学習した内容を見合う時間を設けることで、より児童同士で学習内容を高め合う様子が見られました。

●●● 小中一貫教育の取組プログラム ●●● ※一部抜粋

[柱] となるテーマ		学力向上
中学校	第1～3学年	・自分の興味のある分野や各教科など、毎日継続して学習する習慣を身に付けさせるとともに、自分の目標実現に向けて努力する姿勢を育てる。
	第5、6学年	・中学校に向けて、学習内容やテーマを細かく設定させ、継続して取り組めるよう習慣化する姿勢を育てる。
小学校	第3、4学年	・MY学の取り組み方に慣れさせ、机に向かう姿勢をもたせ、自分の関心のあることをすすんで調べる意欲を高めさせる。
	第1、2学年	・MY学の取り組み方を教え、自分の好きなことなどをすすんで表現する楽しさを感じる姿勢を身に付けさせる。

9年間を見通した系統的なICT教育の取組

開進第一中学校グループ (開進第一中・早宮小・開進第一小)

【目指す15歳の姿】

- 知徳体のバランスのよい育成を図る。
- 発達の段階に応じて、社会性を身に付けた児童・生徒の育成を図る。



校区別協議会における授業公開や協議会で、ICTを活用した授業実践や環境整備などの情報共有を図り、グループ内の指導内容の統一を図っています。発達段階ごとにICTの活用内容を明確にしたことで、各学年におけるICTの活用頻度は高くなりました。児童・生徒は、タブレット端末を使って、ドリル学習に取り組んだり、友達と考えを共有したりして、学びを深めています。

●●● 小中一貫教育の取組プログラム ●●● ※一部抜粋

[柱] となるテーマ		ICTなどの活用に関する取組
中学校	第1～3学年	○基本的な操作：ClassroomからスライドやMeet、FigJamなどを、作品の制作活動の過程で活用させる。 ○情報モラル：小学校での指導を継続し、情報の取捨選択やSNS利用について重点的に指導する。
	第5、6学年	○基本的な操作：スライドやFigJamを活用して、調べたことや考えたことなどを発表・共有させる。 ○情報モラル：情報の取捨選択やSNSの利用について重点的に指導する。
小学校	第3、4学年	○基本的な操作：オクリンクなどを活用して意見を出したり、交換したりさせる。ローマ字入力ができるように指導する。 ○情報モラル：自他の情報の大切さを踏まえ、適切にタブレット端末を活用するように指導する。
	第1、2学年	○基本的な操作：タブレット端末の起動や終了、写真撮影や手書き入力などのハード面と、オクリンクなどの学習アプリの基本的な操作をさせる。 ○情報モラル：情報を扱うときの基本的な約束を守るよう指導する。

将来の進路開拓をテーマとしたキャリア教育の取組

貫井中学校グループ (貫井中・練馬第二小・練馬第三小)

【目指す15歳の姿】

- 学んだことを活用しながら、興味や関心をもって自ら学習に取り組むことができる児童・生徒
- 相手のことを思いやり、考えながら適切に行動できる児童・生徒
- 将来の希望や目標をしっかりともち、すすんで努力できる児童・生徒



●●● 小中一貫教育の取組プログラム ●●● ※一部抜粋

[柱] となるテーマ		キャリア教育
中学校	第3学年	○進路指導 ○高校の先生から話を聞く会 ○上級学校への訪問 ○面接対策講座 ○キャリア・パスポート
	第2学年	○上級学校に関する調べ学習 ○職場体験学習 ○キャリア・パスポート
	第1学年	○アンケート「貫井中大好き」の実施 ○身近な人の職業に関する調べ学習 ○キャリア・パスポート
小学校	第6学年	○部活動体験や授業・見学会への参加 ○中学校合唱コンクールのリハーサル見学 ○中学生に向けてのアンケートの実施 ○多様な世界で活躍する人に関する学習 ○キャリア・パスポート
	第5学年	○多様な世界で活躍する人に関する学習 ○キャリア・パスポート
	第3、4学年	○地域で活躍する人に関する学習 ○キャリア・パスポート
	第1、2学年	○自分の夢をテーマにした学習 ○キャリア・パスポート

キャリア・パスポートとは
児童・生徒が自分の学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自分自身の変容や成長を自己評価できるように蓄積していく記録

小中学校で、特別活動の充実を図っており、例えば学校行事において、小学校では学年に応じて自分の役割を全うし、周囲と一緒に協力し挑戦すること、中学校では、生徒が主体となって行うことに焦点を当てて、集団活動を通して多様な他者と関わる力を育成しています。特に、中学校1年生と小学校6年生の接続期における交流を多く取り入れ、「部活動体験」や「中学校合唱コンクールのリハーサル見学」等の取組を積極的に行っています。部活動見学会後、6年生の児童からは、「部活動がより楽しみになった。」「中学校では、何事にも一生懸命頑張りたい。」など、肯定的な感想が多く出ました。